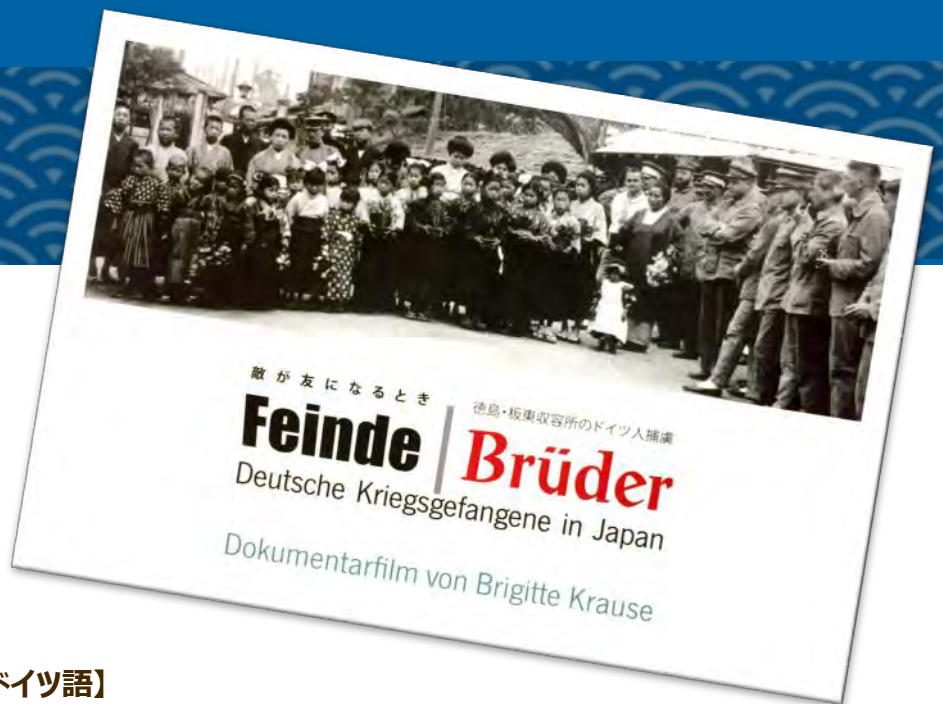


専修大学外国語教育研究室主催 第46回外国語教育研究会

敵が友になるとき

日本のドイツ人捕虜収容所

ブリギッテ・クラウゼ監督ドキュメンタリ・フィルム
— 上映と解説 —



■日時

2015年1月13日(水)

16時35分～

■解説

寺尾 格 経済学部教授【ドイツ語】

■会場

専修大学生田校舎 977教室 (9号館7階)

ドキュメンタリ・フィルム『敵が友になるとき』/2013ブリギッテ・クラウゼ監督・制作/78分

徳島・板東は第一次世界大戦の時の日本におけるドイツ人捕虜収容所。

板東収容所には、ほぼ1000人の虜囚が収容された。

人口数百人の村は、まったく違う文化との接触交流を
余儀なくされたのだった。

収容所では工芸、展覧会、講演、数々の演劇やコンサートの公演、
時を追ってドイツ文化が広まっていった。

参加無料・申込不要

問い合わせ先：専修大学CALL事務室

✉ i_call@acc.senshu-u.ac.jp
☎ 044-911-0502